

Aサロン「自助力向上サロン」

日時：2021年5月28日（金） 16:35～17:15

会場：横浜市青少年育成センター

参加者： Zoom 長嶋、釜石、植山（新規）、松島（新規）

敬称略 会場 田中（晃）、荏本、柴田（?）

今回のサロンは会場の会議室が不明でした。（私では把握してなかったのですか）
あらかじめ、Aサロンはどこの会議室と指示がありましたか。

最初の5分は会場探しでロスした。

田中晃さんとの電話連絡がついた後は電話の声でZoomでのやり取りが度々中断。

Zoom間の会話は問題なし

打ち合わせの内容は下記です。

—植山さん、松島さんに今までの経過を説明。

—全体の流れを確認

地震の際は、在宅避難が基本

そのためには家の耐震化が必要

共助で耐震化を促進——>この部分を具体的に

耐震化の具体的取り組み例（現在、4例）

在宅避難に必要な準備

まとめ

—今後、耐震化促進の具体案をまとめる

引き続き、メール・Zoomでの打ち合わせをする予定。

但し、Zoomの段取りがいつできるかわからなかったため具体的な日程は決めなかった。

Bサロン「共助力向上サロン」

日時：2021年5月28日（金） 16:35～17:05

会場：横浜市青少年育成センター ミーティングルーム

参加者： 山田美、 増田、早川、稲垣、磯野、松原

*新メンバーとして横浜市栄区の松原紘さん参加

1. まず前回からの宿題だった 自分の住む地域の災害リスクやその対策について ハザードマップや資料を持ち寄り確認、課題を出し合いました。
話し合いをした。

【担当分担として】

山田：津波 「平塚市」相模湾に面した砂丘の地域が多く津波のリスクがある
相模川と金目川に挟まれ津波遡上や洪水のリスクも大きい。
逃げ地図などを活用して避難訓練をしている。マイタイムラインなどの作成を促している。

稲垣：地震 「旭区」高台で津波;洪水の被害リスクは低く地震と火災の
心配のみ。自治会では防災訓練をしっかり実施。

早川：水害 「都筑区」鶴見川より支流の早淵川の浸水などのリスクもある。
一人で逃げるのが難しい要援護者の問題もある。

増田：土砂災害「葉山町」急傾斜やレッドゾーンの地区もあり土砂災害の対策
は必須。(はやま防災ネットワークニュース)を発行して啓発活
をしている。共助にどうむすびつけるかが課題。

磯野：避難所問題「神奈川区」避難所は整っていないと関連死もでる。
皆はおもいやり協力して助け合う共助は何より大切。

松原：水害 「栄区」栄防災ボランティアネットワーク会員としても
活動しているが共助を推進するにはどのように地域で

連携していくかが課題。

★雑談のような形になってしまったのでBサロンとしての目標に向けての

少ない時間の打ち合わせや活動を効率化するためにはこれからの活動計画とビジョンを立てていくことが大事との指摘があった。

★11月のBサロン担当の談義の会については形式や講師についてもっと

検討を重ね行く。

<山田美 記>

C:「公助連携力向上」サロンメモ(2)

◆日時：2021年5月28日（金） 16:35～17:10

◆会場：新型コロナウイルス感染症の影響により、横浜市青少年育成センター第二研修室（会場）及びオンライン方式との併用開催

1. 1. Cサロンのメンバー紹介等

◎鷲山龍太郎、高松清美、山口章、杉本和子、江上健（新）、江上富美子（新）、田中喜世美

今回から新メンバー参加、改めて自己紹介（今回の記録は田中）

・ * 江上健さん、鎌倉市で防災活動・まちづくりに取り組んでいる。自治会から地域全体の福祉、教育、行政との連携をしながらかまぐららの街づくりをしたい。今日、ヒントをいただいたので、参考にしていきたい。

・ * 江上富美子さん、女性の立場でできることを考えている。保護者、小中学校、福祉を主に地域との防災、こどもたちに考える防災を教えたい。

・ * 山口さん、みんなのための街づくり、コミュニティづくりが大切。

・ * 高松さん、中高生との交流が主体。神奈川 ⇄ 被災地 とのコミュニケーションを図っている。

・ * 杉本さん、みんなそれぞれで防災活動をしているように思う。一つにまとまってみんなが分かる理念づくりを考えている。

・ * 田中、行政、学校、地域で1000人くらいの防災訓練ができるようになりつつあったが、校長が変わり学校が抜けた。現在は別の意味で行政の協力体制で新しいタイプの街づくりが始まっているような気がする。

- ・ * 驚山、自助、共助、公助の統合が目標である。太尾小学校では、学校HPに防災まちづくりの理念「ふるさと太尾構想」がリンクされている。この理念のもとに、学区のすべての共助組織が連携していて、それぞれに、児童と保護者、住民に実地も含めた防災教育をしている。4サロンでスタートしたが、その連携統合に話が進むことを期待する。

1. 2. これからの活動スケジュール予定

*7月27日(木)「第182回防災まちづくり談議の会」
Cサロン主催 会場参加・オンラインとの公開講演
講師「小さな命の意味を考える会」代表 佐藤敏郎氏

1. 3. Zoomの接続がよくなかった。

リモート専属が欲しい。

他の会場と混戦していてよく聞こえない部分が多かった。

リモート参加の人の声が入らなかつたりした。

釜石さんはホストが、外からの参加をOKしないと声が入らないこともある。

Dサロン「時事防災課題サロン」

日時:2021年5月28日(金)16:35~17:05

会場:横浜市青少年育成センター 和室(Zoomがうまく機能しない)

出席者:池田、佐々木、中島、樋口(Dサロンリーダー)

閲覧資料(PC画面上に表示):SDGsメモ_絞り込み、感染症とは?

グリーンインフラMemo、グリーンインフラの効果(大阪府の取り組み)

議事:

1. 議論活性化のキッカケになることを期待して、手始めに「感染症とは?」を作成し、だるまHP(会員レポート)に掲載した。

→磯野さんが興味をもってくれた。

→「感染症」は、未だ収束の目途がたたず、今後どのような事態になるか分からないので、情勢の変化をにらみながら深掘りが必要だろう。

2. SDGsで一番達成率が低いのは、温暖化による環境の激変と、それがもたらす自然災害。その克服のヒントになりそうなのが、グリーンインフラで、調べ始めた(樋口)

→まとまった段階で、開示し意見を仰ぎたい。

3. Dサロンは、取り扱う範囲が広く、現段階でテーマを絞り込んで成果物を出すのは無理。当面

は、各自がアンテナを張り、面白そうな(必要と思われる)テーマを探してきて、ある程度まとまったら情報交換をするのが良いだろう。

→いくつかのテーマが出てきたら、その中から2月に何を発表するかを決めよう。

→次年度につなげられるテーマを見つけたい。

4. D サロンのメンバーは横浜市緑区のメンバーが多いので、「みどりーむ」を意見交換・活動発表の場としたらどうか？ 6月中には集まりたい。

5. 6月5日に「緑区白山見学会」を行い、午後から みどりーむ で「崖崩れや災害リスク」に関する意見交換会を行う(このイベントを通して、取り組むテーマが見つかるかもしれない)。